



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2025年03月24日 第1211号「週刊五十嵐レポート」

ドジャースオーナーの助言

3月21日付日経新聞、コラム「十字路」はドジャースオーナーの助言。

米大リーグ、ドジャースの開幕戦が日本で開催され、大いに盛り上がった。立役者の一人がドジャースのオーナーであるマーク・ウォルター氏。同氏はNBAのレイカーズ、英サッカーのチェルシーをはじめ様々なプロスポーツのオーナーでもある。そのウォルター氏に投資機会を見出すコツを聞いたところ、「いろいろな場所に出向いて、直接人と会って話をすることだ」という。

一人で机にかじりついていても良いアイデアが出ないことはある。そんなときはウォルター氏ではないが、旅をしたり、人と会って対話したりすることが解決の糸口になることも少なくない。

中国、北宋時代の大家・欧陽脩(おうようしゅう)は、良いアイデアを得るには「三上(さんじょう)」が適していると言っている。

一つは、「馬上(ばじょう)」。馬に乗って移動している時。現代では、通勤中や移動中に思考が整理されたり、良いアイデアが生まれる。

二つ目は、「枕上(ちんじょう)」。就寝前や目覚めた時。布団に入ってリラックスした状態では心が静まり、昼間に考えつかなかったことを思いつく。

三つ目は、「厠上(しじょう)」。トイレの中。用を足す間の静かな時間は、雑念が消えて思考が深まりやすくなる。

普段の仕事環境から離れることの効用を説いている。ウォルター氏の世界旅には及ばずとも、我々も例えば、周囲の評判で決めつけず、万博に自ら足を運んでもよい。新しいアイデアに出会う機会を得られるかは行動次第だと筆者は締めている。

良いアイデアや新しいアイデアが生まれるかどうか分からないが、私は3月30日～4月4日まで香港、深圳に旅行する。日系外食企業も香港、深圳に進出している。香港はシンガポールと並び金融都市。深圳は中国のシリコンバレーと言われ、ファーウェイ、BYD(電気自動車)、DJI(ドローン、アクションカメラ)の本社がある。6年前中国で友人になった日本語通訳者と再会、現地を案内してもらおう。(よって次回3月31日の「五十嵐レポート」は休みます)

ちょっと
気になる出来事

3月19日付朝日新聞、「訪日客効果都心も観光地も」という記事。

2025年の公示地価は、上昇率がバブル崩壊後で最大の上げ幅となった。都心や観光地などでは訪日外国人や再開発に起因した旺盛な需要が背景にある。住宅地の上昇率で全国トップは、北海道富良野市(31.3%)。

下落している地域もある。住宅地の下落では、群馬県、栃木県、山梨県、福井県、岐阜県、奈良県、香川県。商業地の下落、青森県、岩手県。住宅地、商業地ともに下落は、鳥取県、島根県、愛媛県、徳島県、高知県、鹿児島県。

私は、2001年～2004年、山梨県富士吉田市にある建設業の再建支援をしていた。その頃、バブル崩壊後10年連続で地価が下落、不動産が全く売れず、手も足も出なかった。今年、山梨県公示地価のニュースを見ると「商業地はバブル崩壊の影響で地価の下落が始まった1993年以降、33年ぶりに下落せず、横ばいとなった」「富士河口湖町や、インバウンドの需要が高い富士北麓の商業地が全体を押し上げた」。

よかった。再評価するのは、外国資本。不動産の取引が活発になると、経済が潤う。33年長かったな。地価が上がることは下がるより良い。



一口メモ
知識

生々流転

否(ひ) 終われば傾く、なんぞ長(なが) かるべけんや。

人災によって来る無道の乱世、暗黒の時代である「否」も、ずっと長く続くわけではない。生々流転(せいせいりてん)してひとときも止まらないのが自然の摂理である。良い時もあれば、悪い時もあるように、時は絶えず循環している。

それゆえに、人情の通じない絶望的な状態であっても、状況を打開しようという力が必ず生じ、否の時代は必ず泰平の時代に向かって回復していくのである。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

